

会 議 録

会議の名称	平成28年度第7回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成29年2月7日(火) 午後7時～9時
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	本間雄一委員、長ヶ原美博委員、吉田廣子委員、 小森重紀委員、武田秀規委員、田尻円委員 事務局
欠席者	千葉純平委員、大根田良夫委員 岩村沢也委員、搦木道代委員
公開・非公開	公開(傍聴人 0人)
会議次第	1. 協議事項 (1) 地域でできる子どもに向けた支援 2. 報告及び連絡事項
会議資料	定期刊行物
会議録確認	本間雄一委員

会 議 内 容 (要点記録)

1. 開 会

2. 協議事項

(1) 地域でできる子どもに向けた支援

対象別活動を一覧にしたシートを元に、まとめ方について意見交換。

【議長】例年、報告書や提言書という形でまとめてきた。今期はどのような形でまとめていくか、意見を。

【委員】このシート自体はそれなりにまとまっている。先日の生涯学習関係委員研修会の発表の時にも、参加者の方々がよく目を通してくれていたように感じた。

【委員】個々の地域での活動は知られていても、カテゴライズすることにより、新鮮味がでたのかもしれない。

【委員】祖父母・親・子の世代の問題というのがある。地域で活動していても、世代で継承していくというのが難しい。

【委員】主婦が働き始めて、「鍵っ子」が増えた。その鍵っ子世代が今は親になっている。ベースとして、「ボランティア」という考えがないのは、時代的なものを加味すると理解できる気がする。

【委員】シートに掲載されている事業については、今後継続すべきか否かということではなく、継続が前提となり、それについての改善という視点で考えていくことでよいか。

【委員】よい。また、縦軸と横軸でみる必要もあるのでは。

【委員】各横列でまとめると多すぎるので、同様の課題があがっているようであれば、まとめられるのではないか。

【委員】共通のキーワードをあげるのはいかがか。シートから読み取れるものを書きだすとよいと思う。

【委員】報告書で文章化するにあたり、活動ごとに行うのは省きたい。シートを資料として添付すれば、同様のこととなる。全体枠で捉える方がよい。

【委員】テーマが「地域でできる子どもに向けた支援」となっており、課題分析までしていることから、提案部分を掘り下げて文章化できるとよい。

【委員】大きくは対象でわけて文章化するのがよいと思うが、対象別の中でも、いくつかは活動ごとにわけてもよいかもしれない。例えば、学校応援団と地域子ども教室とPTAは課題が共通であるように思う。

【委員】南畑の地域子ども教室や水谷東のおむすび少年団は、横のつながりよりも縦のつながりが上手くいっているので活動も円滑になっている気がする。成功事例を列挙していくと、提案にうまくつながるのではないか。

【委員】地域性も大きいとは思いますが、先輩・後輩などの関係は、どこの場所でも共通しているのでは。

【委員】地域に関わるきっかけは、PTAが大きかった。その中での、先輩役員や後

輩役員と、今いっしょにいろんな活動でつながっている。

【委員】つながりが切れてしまうと、活動や団体の継続が厳しくなる。

【委員】PTAなどは、地域活動の入り口かもしれない。南畑などは、町会の歴代の役員の方は、PTA経験者が多くいる。

【委員】しかし、PTAも、任意加入ということで、強制入会ではないことから、いろんな保護者の意見が出ているということも聞くので、PTAのマイナスの部分ばかりでなく、プラスの部分で良さが広まっていくとよいと思う。

【委員】川越などでは、地域で中高生をジュニアリーダーとして育てていて、地域づくりに大きく貢献している。中高生をうまく活用できる取り組みがあってもよい。

【委員】地域の防災訓練に中高生の力が期待されているという話を聞いた。一方で、火起こし体験をするが、「今の子ども達はマッチを覚えると、家でする危険性があるので危ないから教えないでほしい」という大人の声も聞かれる。子どもたちに、教えること、教えてはいけないことのラインがよくわからない時がある。

【委員】PTAにしても町会にしても、加入は任意であるが、そのやり方や運営について、以前より是非について話が出てくる。加入者の方にアンケートなどをとったこともあったが、募金などの活動についても、いつまで続けられるか心配になることもある。地域をつなげるという意味では、大きな役割を果たしていることは確か。ネガティブではなく、ポジティブな面を前面にだして、楽しみが広がるようにしていくとよい。なぜその団体が必要なのか、原点に立ち返るということも必要。

【委員】役をやっている人は、楽しくなるとまたやってしまうため、2年目もやる人を「おかわりする」という。そういう地域もある。

【委員】地域づくりの時、旗振り役が必要。そういう人がいると、まとまってくる。

【議長】報告書のまとめ方であるが、前回は受け持ちを決めて、各担当で作成をした。今回も同様の形で良いか。

【委員】いいと思う。構成としては、下記のとおり。

- 1) はじめに（そもそもこのテーマに至った経緯）
- 2) 今期の協議の進め方（シートができるまでの経緯）
- 3) シートの要約（縦軸と横軸）※参考資料として、シート添付。
- 4) 提案
- 5) おわりに

【委員】全体意見がシートにまとめられているので、そこから見えることを列挙できるとよい。

まとめ方について、議長・副議長・事務局で打ち合わせを行い、次回会議までに各委員やることを含め、通知をするので、今回はそれをもちよる形で進めていく。

(2) 報告・連絡事項

- ・第31回入間地区公民館研究集会 報告

3. その他

次回会議日程

平成28年度第8回会議

日程：平成29年3月16日（木）午後7時～

場所：教育委員会 会議室

4. 閉 会

○副議長あいさつ